

たんぽぽ通信

Dandelions

2024. 11

始良市立加治木幼稚園便り

PHONE 62-2502

FAX 62-2524



県民週間ありがとうございました

11月1日～7日の地域が育む「鹿児島島の教育」県民週間の自由参観には、延べ120名の皆様が子どもたちの様子や園の保育活動を参観してくださいました。期間中に未就園児の方々への園開放「どれみふぁらんど」も実施しました。多くの温かい感想等をお聞かせいただきありがとうございました。これからの活動に生かしていきたいと思っております。

交通安全、手をつなごう

駐車場や自宅から、毎日歩いて来る子どもたち。その子どもたちの安全をしっかり守りながら、一緒に歩いてくださる御家族の皆さん。私は、門の前でお迎えするとき「今日も元気に登園ありがとうございます。」と嬉しい気持ちになります。

本園は、歩く機会が多くあります。登園・降園意外にも、遠足、その他のお出掛けでも多少の距離は年少から年長まで皆歩きます。

歩くことは心身の成長のためにも、人との関わりを深める上でもとてもよい効果があるということで、これからも様々な活動の中でどんどん取り入れたいと考えています。

しかし反面、心配なのが交通安全です。園では道路を歩くときには、前中後に職員を配置し、横断するときは声を出して確認し、横断旗で誘導します。そして、上下の学年や同じ組の友達と必ず手をつないで歩きます。

この、手をつないで歩くということは、安全のためにもとても有効だと言われます。ですので、登降園のときも、できるだけお子さんと手をつないで欲しいと考えます。(弟妹がいると難しいかも知れませんが)「でも、勝手に手を振りほどくのよね。」という方があるかも知れません。ですが、一般に子どもが、

親と手をつながなくなるのは小学校低学年から高学年と言われています。手をつなぐよさは次の通りです。

- 1 子どもの事故で最も多い飛び出しを防ぐことができる。
- 2 相手に合わせて同じ方向に歩くので協調性が育まれる。
- 3 温かいスキンシップができる。

なお、既になかなか手をつないでくれなくなっている場合、「ここから〇〇までは危ないから手をつなごうね。」と区間を決めて、さりげなく優しくつなぎ、できたら「〇〇ちゃんが車にひかれたりしたらお母さんはすごく悲しい。手をつないで、一緒に歩いてくれてうれしかったよ。ありがとう。」とたくさんほめることが有効です。

ところで、手をつなぐということは、実は子どもにとって親を独占しているとおきの時間でもあります。事故防止のためだけではないのです。手をつないで歩くスキンシップが、親子とも互いに温かく嬉しい時間になるといいなと思います。



【10/11月のキラリ 活動紹介】

～交流活動(錦江幼稚園に建昌・加治木幼稚園の年長組が集まりました)～



建昌幼稚園はJRで来たんだって。加治木幼稚園は歩いて来たって。3つの園が集まると、お友だちがすごくたくさんいるんだね。



はじめの式が終わったら、グループを作って、一人ずつ幼稚園名と名前を言って、自己紹介タイム。

自己紹介したグループ毎に、力をあわせてネイチャーゲーム。ヒントをもとに、答えの野菜や花や虫を見つけるために園内探検。



たくさん探検した後は、待ちに待ったお弁当タイム。すっかり他の園の人とも仲良くなったので、自由に集まってたくさんのお友達とおにぎり弁当をいただきました。

～いもほり～



でっかいのあった！みんなで苗を植えてから約150日で収穫です。とても豊作でした。

採れた芋を、自分でホイルに包みました。お父さんたちが焼いた芋をみんなで美味しくいただきました。

～ハロウィンの散歩～



新しい活動「ハロウィンの散歩」です。かもだ通りに、好みの衣装をして出掛けました。多くの方々温かく声をかけてくださいました。

サニーレタスがサンチュの苗で、好きな方を選んで一人一鉢に植えました。今では大きく育って、食べ頃です。「家で食べたなら美味しかった。」そうです。



～焼き芋パーティー～



～レタスの苗植え～

